

平成 30 年度 砺波高等学校 アメリカ研修報告書 (6 日目)

研修 6 日目を迎えました。これまで天候に恵まれていましたが、今日は冬らしい曇り空と雪がちらつく一日となりました。今日もバス組が遅刻してしまいました。昨日よりは 5 分だけ早めに家を出たようですが、ニューヨークの朝の渋滞を見越せなかったようです。しかし、しっかり公共交通機関の仕組みを理解し、迷わずに時間通りに来れる生徒がほとんどで、高校生の時にできたこの経験は今後の大きな自信になることと思います。

提出された日記からは、昨日の生徒達の頑張りがたくさん伝わってきました。耳が慣れたことで英語レッスンで積極的に発言できたこと、周囲を気にする意識から脱却し、コロンビア大学で学生ゲストの方と積極的に交流や質問ができたことに「楽しさ」を見出した生徒が多くいたことは大きな変化と思います。一方で、昨日もまだ勇気が出ず、質問をしたかったのにためらってしまった生徒、YES/NO のベーシックなリアクションにも課題を自覚している生徒もいました。しかしこれも、「できた、これでいい」ではなく、もっとやらなければといういい雰囲気、チームの中に生まれてきたということだと思えます。なあなあの集団を脱し、切磋琢磨して高め合うチームであることは個人の成長とリンクして重要なことと思います。

今日の午後はメトロポリタン美術館に出かけました。フランスのルーブル美術館、ロシアのエルミタージュ美術館と並び世界三大美術館と称される同施設は、約 300 万点の収蔵品を有する巨大な私立美術館です。全ての作品をじっくり見ようと思えば、数日や数週間ではなく、年単位の時間を要するという話にも驚かされます。ここでランチを取った後、2つのグループに分かれてガイドツアーを実施しました。作品が作成された時代背景や作者の意図、社会に与えた影響についてなど、ガイドブックや教科書だけでは分からないような内容まで解説いただき、芸術への関心度合を問わず生徒達は前のめりで説明に聞き入っていました。ガイドツアーの後は短時間自由見学の時間とし、生徒達は引き続き目当ての作品を見に行ったり、ギフトショップで買い物を楽しんだりしました。何せとても巨大な美術館で、時間が十分だったとは言えません。明日の班別研修の計画を変更し、予定に入れても良いことを伝えて今日は解散としました。

今夜がホストファミリーと過ごす最後の夜となります。明日の朝には荷物をまとめてお別れをしなければいけません。後悔の無いよう、自分自身を出し切って良い時間を過ごして欲しいと思います。以上、研修 6 日目の報告といたします。



メトロポリタン美術館訪問①日本人ガイドの方に詳細に解説いただきました



メトロポリタン美術館訪問②日本では江戸時代にあたる頃のクリスマスツリー



トロポリタン美術館訪問③



メトロポリタン美術館訪問④



メトロポリタン美術館訪問⑤教科書レベルの名画が多数収蔵されています



メトロポリタン美術館訪問⑥



メトロポリタン美術館訪問⑦



メトロポリタン美術館訪問⑧メインエントランス前で